

会 議 録

会議の名称	平成 28 年度第 7 回 大平地域会議
開催日時	平成 28 年 12 月 7 日 (水) 午後 6 時 35 分 開会 午後 7 時 35 分 閉会
開催場所	大平総合支所新館 2 階 第三会議室
出席者氏名	赤澤 美智子 伊藤 宏幸 大類 昭子 熊倉 匡志 黒田 愛美子 小林 明彦 清藤 良人 関根 淑子 高際 悦子 中島 豊和 平井 良三 山田 義久
欠席者氏名	富山 勝也 稗田 真純 藤崎 英治 藤原 美恵子
事務局職員職氏名	大平地域まちづくりセンター所長 (大平地域づくり推進課長) 茂呂 浩司 同 副主幹 佐藤 賢一 同 主査 戸田 良訓 同 主査 田中 佳代
その他出席者等	なし
会議事項	(1) 【意見聴取】「後世に残したい栃木市の文化資源 48 選」に掲載する地域の文化資源の選定について (2) その他
会議の公開又は非公開の別	公開
傍聴人の数	0 名
その他必要事項	

会議の経過

発言者	議題・発言内容・決定事項
●事務局	1. 開 会
◆会長	2. あいさつ
●事務局	3. 議 事 (1) 【意見聴取】「後世に残したい栃木市の文化資源 48 選」に掲載する地域の文化資源の選定について 「後世に残したい栃木市の文化資源 48 選」に掲載する地域の文化資源の選定について、資料に基づき説明。
◆委員	前回の会議で、富田・川連・榎本城址について、現存していないのでイメージできないのではと発言したが、その後、実際に回ってみて気がついたのは、榎本と川連の城址は永野川の東側に位置しており、川が蛇行しているのを最近にまっすぐに整備されたが、昔は川の近くにあったのではないかと思う。小山を親城だとすると、これらは最先端の出城だと思う。全ての地形をみると、昔の人がなぜここに城を築いたのかが分かる。今現在城跡はなくても、昔あったものの意味を、文章だけではなく古地図等を用いて伝えられればよいと思う。

◆会長	では、「後世に残したい栃木市の文化資源 48 選」に掲載する地域の文化資源の選定については、「意見なし」ということでよろしいか。
◆全委員	《了承》
●事務局	<p>4. その他</p> <p>(1) 次期地域会議委員について</p> <p>次期地域会議委員について事務局より説明。</p>
◆会長	個人的な意見にはなるが、この会議の役割等もやっと分かりかけてきた状態なので、できれば皆さんに継続していただければと思う。
●事務局	大平地域の実働組織も設立に向けて動き出しているので、できるだけ継続していただきたいと思う。
◆委員	2号委員について、学識経験者というよりも、「識見を有する者」や「まちづくり経験者」の方が実態にあっていると思う。
●事務局	大変申し訳ないが、本庁の地域づくり推進課より、あと2年間は現状のとおりと回答をもらっている。委員の定数、割合についても、現状どおりとなっている。今後の公募の状況や、団体推薦等を経て、トータル的に考えていきたい。
◆委員	若い人の意見を取り入れられる組織にしたいと常々思っているが、大学生や高校生に委員になってもらうというのは可能か。これからの世代の意見を取り入れられるとよいと思う。
●事務局	<p>地域会議委員の公募要件は20歳以上となっている。</p> <p>学生にはぜひ実働組織に参加してもらい、地域会議の委員と一緒に意見交換ができるようなイメージがよいと思う。</p>
◆委員	<p>委員の定数は決まっているが、定員数にこだわらず、オブザーバーとして参加してもらってもよいのでは。</p> <p>他地域でボランティア活動をしている学生もいるし、先生が連れてくる場合もある。そういった生徒をうまく引き込めればよいと思う。</p>
●事務局	<p>公募で若い人が応募してくれるのが理想だが、現実はなかなか難しいと思う。公募の状況や、団体推薦の結果を踏まえ、工夫していきたいと思う。</p> <p>(2) 新たな地域づくりに向けたまちづくり勉強会について</p> <p>平成28年12月21日(水)18時30分から 大平総合支所 第一・第二会議室</p> <p>(3) 第8回大平地域会議の開催について</p>

平成 29 年 1 月 26 日（木）大平総合支所 第三会議室  
（4）大平地域会議だより【第 5 号】について

5. 閉 会